



ご入学おめでとうございます。一緒にかんばりましょう。

ご入学おめでとうございます。今は高校受験を終えたばかりでホッと一息ついているところではないでしょうか。新入生の皆さんには、これから始まる高校生活が楽しく充実したものとなることを心より願っております。4月から良いスタートが切れるよう、入学までの一か月を、生活と学習のリズムを保ち有意義に過ごしてください。

新しい高校生活に向けての準備

私たち高校36期教員一同は、皆さんを迎えられることを嬉しく思います。特に本校への入学を早く決めた皆さんだからこそ、学習をはじめとして、部活・委員会や学校行事など、これからの高校生活でも大いに活躍してくれることを願うばかりです。

中学校ではまだ、県立などの高校入試に向けてラストスパートをかけている友人もいることでしょう。早めに進路決定をした皆さんに、この期間に準備しておいて欲しいことを伝えます。

0. 中学校生活をしっかりと締めくくる

4月から新しいステージに進むからこそ、まずは3月までの中学校生活をしっかり過ごして来て下さい。友人との別れもあるでしょう。中学3年間で学んできたことは身についていますか？ その確認も必要ですね。これらはすべて新しいステップのためにも大切です。良い卒業式を迎え、良い入学式を迎えましょう。

1. 生活の変化に対応できるように ～手帳で自己管理の練習をしよう～

多くの高校入学生は、家から比較的近い中学校に通っていると思います。高校入学に伴って、通学の時間が大きく変化します。人によっては、部活動による変化が大きいかもしれません。そして学習の仕方そのものが、中学から高校で大きく変化します。この変化に対応するためには、自分で自分をコントロールする力を身につける必要があります。そのための一つの道具として、本校では「手帳の活用」に力を入れています。

高校では学習する科目数も増え、課題なども多くなります。一方で、自分の興味関心も広がり、やりたいことも増えるはずで、これらを意識的に書き留め、読み返すことで、自分の生活を整理して上手な時間の使い方ができるようになります。



2. 入学前の準備学習について ～4月からいいスタートを切るために～

前述の通り、4月から同じ教室で学ぶ多くの仲間は、今まさに受験勉強をしています。芝浦工大柏中学からの連絡進学生は、既に高1内容を学習しています。4月までの時間の過ごし方はその後のスタートに大きく影響します。ですから、「しっかり勉強してきて欲しい」のです。本校の過去のデータによれば、高校入学生も連絡進学生も高1の夏までの取り組みの度合いが、その後の学習に大きな開きを生むことがはっきりしています。まずは入学に向けて、準備学習をしっかりとしよう。詳細は以下にある説明をよく読んで下さい。



次の登校日までにやってくること



生活関係のもの

A **心のMEMO** + **手帳の練習プリント** ※学校で使う手帳は、4月に新入生全員に配布します。購入する必要はありません。

プリント「心の**MEMO PART 2**」は、残り少ない中学校生活を有意義に過ごしてもらうために、みなさんにこの期間の目標を立ててもらおうためのものです。楽しい時間を送れるように、いろいろと想像して書いてください。

「手帳の練習プリント」は、4月から使う手帳のコピーです。次の招集日までの予定を書いて、生活に役立ててみてください。なお、高校で使う手帳は、学校で一括購入しますので、みなさんが今回購入する必要はありません。

芝浦柏では、みなさんへの連絡事項は、担任の先生がクラスですべて連絡するのではなく、ホワイトボードに書いておいて、みなさん一人一人がそれを見て確認するようにしています。また、高校生活では学校行事・学習予定・部活動の予定など、スケジュールを把握しておかなければならないことが多くあります。手帳を使った生活に慣れるように、この一カ月間頑張ってみてください。

(やり方) ※「手帳の書き方 参考例」プリントを参照してください。

- ①手帳に一カ月間の予定を記入する。中学校の予定、部活、遊び、宿題、塾など、書き込んでみる。
- ②宿題などは「できた/できない」「やったページ」などをできるだけ記入する。これが勉強の記録になる。
- ③矢印や色ペンなどを使って、工夫して記入しよう。
- ④4/4(土)までを記入して、「心の**MEMO PART 2**」とともに提出。

学習関係のもの

B **スタディチャージ(国語・数学・英語)**

4月10日(金)に実施する学カリサーチ(3教科の筆記試験)のための準備です。しっかり勉強してきてください。4月10日までに計画的に必ず終わるようにしてください。

C **課題テキストAXEL コースb**

高校になりますと英語の学習内容のレベルが非常に高くなります。普通の授業でもしっかりと予習復習をすることが前提の条件となります。本日配付されたテキストをじっくりと学習しながら付属の提出ノートに答えを書き込み、解答・解説書で自己採点をして間違った部分については良く復習をしてください。次回招集日4月4日には課題テキストの全範囲から確認テストを行いますのでしっかり勉強しておいてください。すでに課題を受け取っている人たちも、もう一度別のテストを受けますので、再度既習範囲の復習もおきましょう。

D **数学Ⅰの自学習(全員)・BRIDGE 高校数学(一部の生徒)(数学)**

(全員共通)

これから皆さんが購入する教科書「数学Ⅰ」のP.6~P.40について、B5のノートを用いて一通り学習してくる。解答・解説書配布するので、教科書の指定範囲内にある例題・問・練習を一通り演習しよう。次の登校日(4月4日)を提出日とし、その日に確認テストを行います。

(今日か初登校の人のみ)

本日配布する教材「BRIDGE 高校数学」について、B5のノートを一冊用意して一通り勉強してくる。ノートの書き方、丸つけの仕方などは、細かい指定をしないが、皆さんが今まで学んできた学習方法をもとに、自分で工夫しよう。次の登校日(4月4日)を提出日とします。

※上記の「数学Ⅰ」と同じノートを利用して構いません。ただし、課題の内容が混ざらないよう、ページを分けて取り組むこと。



E **読書ノート・社説ノート・受験サブリ(国語)**

① **読書:『読書ノート』に記入します(本日配布)**。次の2つのものがあります。

a) 読書マラソン：読んだ本のページ数を記入していきます。トータルのページ数を競います。

※今日から読む本に限ります。過去にさかのぼらないでください。

b) 読書ラリー：読書ノートに指定してある本を読んでいくラリーです。各学年毎月1冊の指定図書を読破してください。必ずしもその月に読まなくても結構ですが、表彰は各年度末になりますので、3月までに12冊の検印がないと読破と認められません。

▼中学3年生の3月の指定本は、**夏目漱石「こころ」**です。高1の授業で扱うので、テキストとして使えるよう、新しくなくてもよいので、**必ず1冊自分のものとして所持しておいてください**。授業に入るのはゴールデンウィーク以降ですが、時間のあるうちに全文を読んでおいてください。

▼**4/6(月)に一度回収します**。「こころ」を読み進めておいてください。

②社説：『社説ノート』に記入します(本日配布)。

シバカシ・オリジナル「社説ノート」に取り組みよう。新聞各紙朝刊の「社説」を読み、要約を書きます。「社説」は各新聞社の「意見」を述べた文章です。例えば東日本大震災以来、各社とも「原発」やその代替エネルギーをどうすべきかについて「社説」で意見を述べています。この意見を読み、200字程度に要約するのが「社説ノート」です。

【やり方】

①新聞各紙朝刊の「社説」欄から、社説1つを選び、切り抜き、ノートの1ページ目に貼ります。

▽「社説」には私たちにとって馴染みのない内容もあるので、新聞を毎日読んで、取り組みやすいものを選ぼう。

▽新聞社のホームページで社説を読むことができます。プリントアウトして使ってOK!

→自分のうちで購読していない新聞の社説を読むことができます。同じテーマについて読み比べをすると、社説ノートも面白くなりますよ。

▽新聞によっては、1日に「2つ」の社説を掲載しています。どちらか一方を選んでください。面倒でも、扱わなかった方の社説は切り取って、扱った社説だけをノートに貼り付けましょう。

②各段落ごとに「意見」と「例」とを分けて読みます。「意見」の部分・文には「ラインマーカー(蛍光ペン)」でチェックを入れます。このチェックした文を集めて、全体の要約文を書きます。

▽ラインマーカーをお勧めします。赤ペンなどで細い線を引くよりも、字全体をマーカーで塗った方が、社説面全体を見渡した時に、全体の構成がよくわかります。

▽どこが「意見」で、どこが「例」か、よくわからないところも多いと思います。高校での授業で改めて説明しますので、まずは自分なりに考えてチャレンジしてください。

③社説の中でわからなかった語句は、積極的に調べてください。「時事用語」は国語辞典では調べられません。できる範囲で調べてみましょう。

④要約を書きます。②でチェックした文をつないでいきます。通読して、内容が伝わるか、読み返してください。

⑤最後のページに「スクラップ」欄があります。社説の内容に関係する記事があれば、貼っておきましょう。

▽少しでもいいので、社説1つをまとめてみた「感想」を書いてください。『社説の意味がよくわからなかった』『意見と例が分けられなかった』『社説の意見に賛成だ』などなど。

◆「社説ノート」は、1つ仕上げるのに時間がかかります。社説を選ぶのもはじめは大変です。今回は**4/6(月)までに「3つ」やってみてください**。4/6(月)に回収します。

③受験サプリ：家庭のPCで授業を見て、自学習を進めてください。

全学年の講座を受講できますが、まずは「高1 古文」第1講(歴史的仮名遣い・動詞)、第2講(形容詞・形容動詞・助動詞の活用と接続)あたりを見てみましょう。2月に課題をもらった人たちは、復習になると思います。

▼受験サプリについては、受講ノルマは設けません。自由に受講してみてください。ただし、上記の課題とのバランスを考えて、しっかり課題に取り組んでいく中に、受験サプリでの勉強も取り入れてください。**動画なので、つつい見続けてしまったり、やりやすかったりすると思いますが、受験サプリがすべてを解決してくれるわけではありません。賢くつき合っていくてください。**

芸術科目選択について

本校では、高校1年次に芸術科目の選択授業があります。生徒の皆さんには、「書道・美術・音楽」の3科目から希望する科目のアンケートを行い、それに基づいて振り分けを行います。なお、希望に添えない場合があります。ご承知おきください。

また、以下の3科目の授業内容、及び用具や費用などをお読みになりまして、本日提出の「芸術履修希望科目届」に予め記入してきた希望順位を変更されたい場合は、本日中に教員までお申し出ください。希望の変更をお受けいたします。

	書道	美術	音楽
内容	1. 硬筆の基礎 2. 毛筆の各書体の基礎 3. てん刻 4. 文化祭出品製作 5. 創作書道 6. 独自の自由作品製作 7. 墨流し等の紙作り 単に文字を書写するのではなく、芸術として表現創作していく。字の上手下手、経験の有無は関係ない。字を書くことが好きであること、書に対して楽しむ心があることが何より大事。 硬筆・毛筆書写検定を受験（春第1回は全員受験，他回は任意。） 書初め大会に参加。文化祭に作品を出して参加。	「本格的な美術を目指す」をテーマにカリキュラムは版画、絵画、塑像で構成 1・版画 銅版画は専門的知識と技術が必要とされる。制作課題（社会的問題）を挙げ今を表現する。 2・風景写生 城址公園、学校内でのびのび制作。空間のなかでの制作は単に視覚だけでなく、それ以外の感じる感覚を絵に表現したい。 3・塑像 名画の一場面を粘土で再現する。教養としてまた世界史の一部として美術史を調べ、自分の一番好きな名画を立体化する。観察とイメージーションが必要、美術鑑賞も兼ねる	歌唱⇒発声の基本、高校生らしい歌声を目指す。斉唱と合唱。 器楽⇒アルトリコーダー。その他、グループ発表では様々な楽器を使用。 鑑賞⇒DVDを使って色々なジャンルの音楽に関する作品を鑑賞する。また生徒による音楽紹介も年間通じて行う。 グループ発表⇒メンバー・曲目・楽器が自由な発表会形式の授業。アレンジや色々な楽器の奏法を学びながら練習を重ね、自己表現の楽しさを学ぶ。 試験；筆記・歌唱・リコーダー 音楽が好きで意欲が高いことが最優先。
用具費用	筆（大・小）紙⇒持っている物で可 書道ファイル 書初め参加代金 書初め用紙 篆刻材料 合計 約 1,500円	キャンバスボード 粘土 彫塑芯材 版画セット 合計 約3,000円	・アルトリコーダー⇒持っている物で可 （機種は自由） ・グループ発表の際、各自で楽譜など購入。 ・ファイル 約50円
その他	作品を書道教室内または教室前廊下に展示。 検定受験料は2000円程度。	美術は上記教材費がかかります。 確認の上選択して下さい。	アルトリコーダーを持っていない生徒は購入必要。 （約2,000円）

4月の予定

- 7日（火） 午前：入学式
- 8日（水） 午前：始業式
- 9日（木）～13日（月） ガイダンス、身体計測、学力テスト、部活動紹介、スポーツテスト、他
- 11日（土） 午前： 保護者会（授業なし・自宅学習日）
- 14日（火） 平常授業開始
- 22日（水）～23（木） 自学自習研修（宿泊）
- 24日（金） 授業なし・自宅学習日
- 30日（木） 球技大会